

一般質問通告書(令和4年6月定例市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁 順序	答弁者
1	戸匹 映二	1. 障がい者の情報の取得利用・意思疎通に係る施策の推進について	(1) 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の施行にともなう白杵市の現状と課題認識について ① 障がい者の情報の取得利用・意思疎通に係る白杵市の現状の取り組みと課題認識を伺う。 ② 白杵市も「手話言語条例」の制定が必要と思うが、市の考えを伺う。		
		2. 市役所の窓口サービスの向上について	(1) 窓口サービス向上への取り組みについて ① 市役所の窓口サービス向上への取り組み経過と現状の課題、今後の取り組みへの考えを伺う。 ② 市役所窓口サービスの向上策として「書かない窓口」が増えつつあるが、白杵市においても「書かない窓口」システムを導入して、市役所窓口の更なるサービス向上に努めていただきたいが如何か。		
		3. 带状疱疹の予防について	(1) 带状疱疹の予防方法について ① 带状疱疹の予防にはワクチンが有効と言われているが市の認識を伺う。 (2) 带状疱疹予防への支援について ① 带状疱疹ワクチン接種への周知・啓発、及びワクチン接種への費用助成を行っていただきたいが如何か。		
2	安東 鉄男	1. 教育におけるICTの活用について	(1) 教育における地域格差の是正、未来を担う創造性豊かな子供たちの育成にICTは欠かせないものと思うが、その現状と課題について ① 全国の児童・生徒にパソコン端末と高速ネットワークを整備するGIGAスクール構想により、一人一台のタブレットが整備され1年経過したが、タブレット端末の活用状況、白杵市のICT教育において見えてきた課題及び白杵市のICT教育がめざす姿についてどのように考え、取り組んでいくか伺いたい。 ② ICTの有効活用により、教員の長時間勤務を解消し、教育の質の維持向上に繋がると考えるが、教員の負担軽減に向けた取り組みについて伺いたい。		
		2. 道路整備について	(1) 市道の整備について ① 市道日当原線赤迫～篠迫間の改良計画について伺いたい。 ② 荒瀬原線の進捗状況と完成予定について伺いたい。 (2) 地域の主要道路である県道川登白杵線について ① 現在整備中の区間の進捗状況と完成予定について伺いたい。 ② その他八里合、落谷の未改良区間、2車線化は完了しているが路肩が狭く歩行に支障をきたしている箇所への歩道設置など、今後整備が必要とされる箇所について伺いたい。 (3) 国道10号の改良予定について ① 野口の改良完了予定について伺いたい。 ② 波津久～日当間の改良計画について伺いたい。		
3	甲斐 尊	1. 組織について	(1) 地域力創生課の設置について ① 設置の背景とその目指すところについて伺う。		

一般質問通告書(令和4年6月定例会市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
4	平川 幸司	1. 人と動物との共存・共生 について	<p>(1) 災害時におけるペットの同伴避難について 災害時におけるペットの避難については、令和3年9月定例会において「災害時のペットの同行避難について」答弁がりましたが、このなかで、同行避難とは、災害発生時に飼い主がペットと同行し、避難所まで避難することで、人とペットが同居するものではないとしたうえで、避難所の居室部分には原則としてペットを入れることを禁止、ペットは避難所敷地内の屋外にスペースを設け、目の届く範囲で管理としています。また、ペットが他の避難者への迷惑にならないように日頃から飼い主が躰をする必要性を述べています。そこで伺います。</p> <p>① こうしたことを解決する方法として、避難者とペットが同伴できる避難場所を設置する考えはありませんか。</p> <p>(2) ドッグランの整備について 現在、白杵市では、多くの家庭でペットを迎え入れ、家族の一員として欠かせない存在となっています。しかしながら、白杵市はペットと過ごすには決して良い環境とは言えません。諏訪山にある総合公園には、「芝生へ入らないでください」と書いた看板が至る所に立ち、芝生への立ち入りができない状況であります。多くの愛好者からは、遊ばせる場所がないとお聞きします。そこで伺います。</p> <p>① 芝生への立ち入りが出来ない理由を教えてください。</p> <p>② 公園内やその他の場所にドッグランを設置する計画はありませんか。</p> <p>(3) ペットの飼い主のマナー向上について 市内には至る所に「糞の後始末をしてください」という立て看板が見受けられます。これは一部の飼い主のマナーの悪さが原因と思われます。そこで伺います。</p> <p>① 飼い主へのマナー向上のための取り組みを教えてください。</p> <p>② 飼い主のネットワークの必要性はありませんか。</p>		
5	大塚 州章	1. DX推進政策について 2. 白杵市の道路政策について 3. 市政に関心を高めるための取り組みについて	<p>(1) 国の地方自治体におけるDX推進の意義を伺いたい。</p> <p>(2) 今年4月より新たに市役所内に設置をされたDX推進室の役割と「白杵市DX推進計画」及び「100年市役所検討委員会」が目指す白杵市及び白杵市役所の将来像をどの様に検討しているのか。また、DXを推進することにより、市民サービスへの影響や市と市民の関わり方、庁舎の役割がどのように変化すると考えているのか伺いたい。</p> <p>(1) 白杵市の現在建設中の港湾と接続する道路の現状について伺いたい。</p> <p>(2) 今6月、市長が国土交通省に伺う内容と、それにより今後予想される課題と安心安全な道路政策についての考えを伺いたい。</p> <p>(1) 市議会議員選挙の投票率について、今回と前回との比較の傾向、分析及び選挙管理委員会としての取り組みについて。</p> <p>(2) 主体的に政治に興味と関心を持つ主権者教育の取り組みについて。</p> <p>(3) 市政に関心を持って頂く為の市の取り組みについて。</p>		

一般質問通告書(令和4年6月定例市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答 弁 順 序	答 弁 者
6	河野 巧	1. 白杵市在住の小・中学生に対する通学支援及び通学環境について	<p>白杵市では「白杵市立学校遠距離通学児童生徒通学支援に関する規則」が平成21年3月に施行されている。予想以上に少子化が進み集団登校ができないことや通学路の安全性が保てない等、小・中学生の通学環境に著しい変化が生じ、改善が必要だと考える。そこで、白杵市の現状と今後の対策について問う。</p> <p>(1) 白杵市教育委員会が考える安全な通学環境について (2) 白杵市教育委員会が考える遠距離通学者の定義について (3) 新入学児童を含む児童・生徒の通学支援制度の利用者数及び利用状況と利用に関するお知らせ・申込方法について (4) 通学支援に関する市民からの要望について (5) 基準の見直しについて</p>		
		2. 新白杵港開港に伴う市内道路整備について	<p>近年、新白杵港開港に向けた取り組みの一つとして、造船所に隣接する道路の拡幅工事が進められていると考える。しかし、九州の東の玄関口としての新港は、物流としての需要が高いと考えられていることから、城下町白杵として、市街地には景観に配慮した道路が必要だと考える。そこで、2バースが計画されている新港からの市内道路整備について、市民への告知も含め、計画されている内容について問う。</p> <p>(1) 県から市への道路整備に関する事業説明について (2) 白杵市が考える市内道路整備の現状と今後について</p>		
		3. 旧野津高校跡地の利活用について	<p>旧野津高校跡地の利活用とその進捗状況について、依然として地域住民からの関心が高いことから、オープンに向けた現状と進捗状況について問う。</p> <p>(1) 現状について (2) 事業計画と進捗状況について (3) オープンに向けた市民への周知と広報について</p>		
		4. 選挙について	<p>本年3月に策定された白杵市議会基本条例からも、議員自らが市民に対して議員活動の内容や考え方等について、わかりやすく説明責任を果たしていくことは認識しているが、市民の声に答えるためには、若い世代が選挙に立候補できる環境も必要と考えることから、以下について問う。</p> <p>(1) 今回の市議選における収支報告について (2) 立候補者の選挙費用に対する公費負担について</p>		
7	奥田 富美子	1. 「国宝白杵石仏」の魅力アップに向けて	<p>(1) ゴールデンウィーク中、5月3.4.5日の三日間実施された無料ガイドツアーは好評のうちに終わったと聞いています。石仏ファンの増加、ひいては白杵にまた行きたい、となるように恒常的にガイドツアーを実施することが望まれます。</p> <p>① 今回の取組の成果と今後の方針についてどのようにお考えですか。 ② 石仏のガイドの育成の計画はありますか。</p>		
		2. 介護職員の充実に向けて	<p>(1) 介護や保育の現場で働く方の人手不足が深刻で、改善に向けて対策が図られてきました。保育に関しては今年度、白杵市内に就職した保育士さんに就労応援金制度を導入するなどにより改善に向かう様子がうかがえます。介護の現場においては慢性的に人手不足が続いています。介護職員の人材育成、人材確保についてお尋ねします。</p> <p>① 人材育成のための白杵市主催の「初任者研修」を実施してはいかがでしょうか。 ② 有資格者に対してフォローアップ研修の実施や就労応援金制度の導入など再就職の促進を図ってはいかがのでしょうか。</p>		
		3. 投票率アップに向けた取り組みについて	<p>(1) 今回の選挙で有権者は各候補がどんな人か、何をしてきたのか、何をを目指すのかわからないという事を耳にしました。テレビも新聞も見ないという人が一定程度いる現状から選挙広報なども必要ではないでしょうか。また投票率向上のため、投票所が遠い交通弱者への配慮が必要と考えます。</p> <p>① 今回の世代別の投票率はどのようになっていますか。 ② 白杵市の公式のLINE、フェイスブックなどSNSを活用して広報してはいかがでしょうか。 ③ 高齢者など交通弱者に対して投票所までの移動支援の必要があると思います。その対策についてお尋ねします。</p>		

一般質問通告書(令和4年6月定例市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答 弁 順 序	答 弁 者
8	匹田 久美子	1. 給食および食育の充実について	(1) 物価高騰の中、給食の質や量を保つことはできるか (2) 学校(給食)における食育推進をどのように行っているか (3) 米飯給食の現状と意義について ① 米、パンといった給食の主食の現状 ② 米飯給食の割合を増やすことや、白杵産米粉パンへの取り組みを検討できないか (4) 非常用備蓄食を活用した子どもたちへの防災教育について		
9	広田 精治	1. 食育推進、人材育成、保護者の経済的負担軽減などを目的とした学校給食の無償化について	(1) 学校給食の無償化について以下を伺う。 ① 文科省の行った2017年度における地方自治体の学校給食の無償化の実施状況調査の結果はどのようなものだったか。 ② 全国で無償化や一部補助が増えてきている背景はなにと考えているか。 ③ 憲法26条の定め通り、本来、国が実施すべきと考えるが、食育推進、人材育成などを目的に自治体が先行実施することで広げていくことも大事だと多くの自治体が無償化に踏み出している。本市では無償化実施の検討を進めているか。 (2) ふるさと納税寄付金を財源に、学校給食の無償化は実施できないか		
		2. フィールドワーク研修、及び民間運動団体の発行書籍の大量購入について	(1) 本市は令和2年8月6日、「教育庁職員人権教育研修会(フィールドワーク研修)」を受け入れて実施し、20名の教育庁職員が参加した。以下を伺う。 ① 「フィールドワーク研修」を受け入れた経緯と理由。 ② 過去、いくつの自治体の「フィールドワーク研修」を受け入れたか。 ③ 訪問・見学した地区はどこか。 ④ 訪問・見学先2コースでの各10名もの行動は、当該地区の人に疑問と違和感を持たれたと想像されるが、見学地域の地元関係者にはどう説明をしたか。 ⑤ 白杵市には、今も同和地区、被差別地域があるとの認識かどうか。 ⑥ 法制定時の参議院法務委員会付帯決議は「教育及び啓発を実施するに当たっては、当該教育・啓発により新たな差別を生むことのないように留意しつつ、それが真に部落差別解消に資するものとなるよう、その内容、手法等に配慮する」とある。「フィールドワーク研修」の手法は付帯決議に反しないか。 ⑦ 部落差別解消に逆行する「フィールドワーク研修」は受け入れないと表明すべきと考えるが、見解は。 (2) 民間運動団体発行の書籍「部落解放」の大量購入について伺う。 ① 購入の目的 ② 月刊誌毎月50冊、臨時号年4回各50冊、合計800冊を購入しているが、その活用方法。 ③ 不公正な支出は中止すべきだが、見解は。		
		3. 大分野津太陽光発電事業における開発行為について	(1) 大分県の林地開発許可における条件の遵守、事業者と本市が交わした協定の履行について伺う。 ① 開発行為における土地の形質の変更、災害防止、水資源保護、工事のあり方等々に対する監視と指導の方法について。 ② 事業者の協定違反等に起因する損害への本市の対応は。 ③ 市民からの通報、苦情に対応する本市の担当課。		